



スクールレポート

SCHOOL REPORT 57
学校生活の
一コマを紹介

今回は、中学校での「飛散防止フィルムの貼付」と「ボランティア活動」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原中学校「飛散防止フィルムの貼付」

自分たちで貼り、防災意識を高める！

田原中学校では、大地震が発生したとき、窓ガラスが飛び散るのを防ぐ「飛散防止フィルム」を、平成24年12月から生徒と職員で校舎の窓ガラスに貼ることにしました。

生徒たちは、まずフィルムを切る作業を行いました。さまざまなサイズの窓ガラスに合わせて切るのは根気のいる作業で、思った以上に時間がかかりました。次に、フィルムを窓ガラスに貼り付ける作業を始めました。初めての体験なので、うまくできるか心配していましたが、すぐに要領をつかんできれいに貼ることができました。これからも、掃除の時間などを使って徐々に作業を進め、平成25年度中には全部貼り終えたいと思っています。

地震防災で重要なことは、「自分の問題としてとらえ、行動すること」であるといわれています。この活動を通して、生徒たちの防災意識と実践力が高まっていくことを願っています。



●飛散防止フィルムを切る作業



●飛散防止フィルムを貼る作業



●みんなで協力した海岸清掃

福江中学校「ドリームの会」

地域交流を深めるボランティア活動！

福江中学校には、ボランティアクラブ・ドリームの会があり、全校生徒の約半数が会員となり活動しています。ドリームの会は、校区にある老人介護施設「渥美福寿園」「花の里」や地元の市民館、NPO団体と連携を図りながら、ボランティア活動を行っています。

「渥美福寿園」「花の里」では施設の清掃やお年寄りの方々との交流を、NPO団体のひとつである「環境ボランティアサークル亀の子隊」では、毎月行われる海岸清掃に参加しています。また、市民館が主催する市民館祭りでは模擬店のお手伝いなどを行っています。夏休みには、講師を招いて研修会を行ったり、「福祉のつどい」で販売する小物を作ったりもしています。

ドリームの会に参加する生徒たちは、休日の空き時間を上手に使うって自主的に活動しています。ボランティア活動を通して、地域との交流を深めながら福祉の心を育んでいます。

